

2016年熊本地震0416先遣隊調査

- メンバー:
 - 千葉大学 山崎文雄・丸山喜久
 - 筑波大学 庄司学(1:00pmまで)
 - 読売新聞 藤澤一紀記者
- 日程:2016年4月16日午前6時半から終日
 - 8:30am-9:00am:熊本城集合. 熊本城の被害を視察.
 - 10:00am-12:00pm:益城町役場周辺調査
 - 12:00pm-1:00pm:西原村役場周辺調査
 - 1:00pm:南阿蘇
- 調査目的と調査対象
 - 激震地における被害概要把握.
 - 家屋被害(全壊程度) / 道路被害(構造・信号) /
 - ライフライン被害(停電・断水等生活支障)

家屋被害

益城町寺迫周辺:

- ・およそ3棟に1棟以上が全壊. 震度7相当の強震動の証左.
- ・相対的に耐震性の高い家屋においても被害が生じている模様.



道路被害

益城町寺迫周辺:

- ・道路路床/路盤の亀裂・段差・陥没、路肩法面の崩壊
- ・橋台背面盛土の沈下とエクспанション部の段差。



インフラ・ライフライン被害

- 道路渋滞・信号麻痺・停電・断水・下水機能支障・ガス支障
- 町役場での応急給水活動. 自衛隊による炊き出し.
- 電源車の本震における被災.
- 4月16日時点: 停電約8万1600戸, 断水約42万世帯

